2024年2月21日 第23号

２０２３～２０２４年度
小倉中央ロータリークラブ週報

世界に希望を生み出そう

例会日　月曜日　12:30～13:30
例会場　リーガロイヤルホテル小倉
事務所　小倉北区堺町1-2-16-3F
TEL　093－531－4015
FAX　093－531－1022

第１３２８回 例会　**小倉５RC 合同例会**　２月21日(水)

本日の卓話　「人口減少時代における北九州市立大学の役割」

北九州市立大学 学長　柳井 雅人 氏

会長の時間（２月　５日　１３２７回 例会記録）　梶原会長

仏教の花と言えば蓮華ですが、その中でも「白蓮華」は特に清らかで美しいとされています。ご存じの通り、蓮華は陸地にではなく泥沼の中に根を下ろし、その水面に咲く花です。赤や青に染まる蓮華もとても美しい花ですが、やはり泥との対比からすると、白蓮華はより際立って見えるからでしょう。

泥沼は私達の住む娑婆世界に喩えられます。この度の元旦からの災害や事故を見ても分かる通り、一寸先は闇であり苦悩に満ちた世界は正に泥沼です。

お釈迦様は我々の持つ苦悩を「四苦八苦」と教えて下さいました。四苦とは「この世に生まれた者は老いて病に罹って死んで行かねばならない（生老病死）」と言う、私自身の苦しみのことであります。この四苦にさらに四つ足して八苦となります。「愛別離苦」「怨憎会苦」「求不得苦」「五蘊盛苦」の四つです。（下記参照）これらは、私以外との縁の中で生ずる苦しみです。

仏様は蓮華座と言う蓮の花の上にいらっしゃいます。これは、苦悩から解脱した悟りの世界にいらっしゃる事を表していますが、同時に我々の世界に深く根を張っている姿でもあります。

これを我々の側から見ると、今は苦悩に満ちた泥沼の中にあっても、いずれは一滴の泥水も被らない悟りの世界へと救われていく身である（成仏）と言う事になります。つまり仏教というのは、仏の教えであると同時に仏に成る教えであると言う事です。その教えを聞く場所がお寺であり、それを伝えるのが僧侶の勤めです。

寺や僧侶は通夜・葬儀の時に必要なもの（死んでから必要なもの）ではなく、今を生きる中にこそ必要なものだという事をご理解頂きたく思います。

＜参照＞

愛別離苦	愛する者と別れなければならない苦しみ。この世で出会ったものとは必ず分かれます。
怨憎会苦	憎い者と出会わなければならない苦しみ。今まで愛していたものでも、自分の心変わりや相手の裏切りなどで憎む存在に変わる事もあります。
求不得苦	欲しいものが手に入らない苦しみ。物やお金だけでなく地位や名誉・若さや健康・人の心までも欲しがります。
五蘊盛苦	肉体的な苦しみや心の苦しみ。五蘊とは、色（物質、肉体）受（五感で受け取る快・不快）想（イメージや概念）行（行動や習慣またそれらの動機や情動）識（総合的な認識、評価、分別）のこと。 直接的な肉体の苦しみや、心と体のバランスがとれなかったり、自分の思いと他人や世間の認識が合わなかったりする苦しみです。

出席報告　２月　５日

在籍会員数	４２名
義務出席者	４０名
ゲスト	３名
ビジター	０名
本日出席数	３７名
本日出席率	92.50%
前々回修正出席率	100%

次回（２月２６日）の例会は、

NPO 法人　九州プロレス
筑前　りょう太氏

2月のお誕生日

２日　大西　千里会員
１５日　浅海　輝二会員
１８日　網田　珠美会員
２３日　河野　一郎会員
２５日　長戸　操会員

今月の主な予定

5日(月)　定例理事会
11日(日)　RLI 研修
13日(火)　新会員歓迎会
14日(水)　二水会
18日(日)　北九州マラソン　応援
25日(日)　RLI 研修
26日(月)　次年度理事会

幹事報告　　森本幹事

・能登半島地震の募金にご協力ありがとうございました。5 万円が集まりましたので、ガバナー事務所へ送金致しました。
本日からは、鳥町食堂街の募金を開始します。
・次週 2 月 12 日(月)は、振替休日のため休会です。次回例会は、2 月 21 日(水)小倉 5 RC 合同例会です。
・2 月 13 日(火)は、新会員歓迎会です。
18:30～　一椿　和（なごみ）です。
・定例理事会報告
① 米山奨学生を 4 月から受け入れ予定。
② 家庭集会に関する件
3 月の予定を 4 月に変更
テーマは「私たちにできる五大奉仕とは…」
③ 夜間例会についてのアンケートを実施

ニコニコ献金報告

累計　４２８，７５０円

梶原・森本・野村会員―百合野さん、原田さん、陶山さん、本日は、ようこそいらっしゃいました。卓話、楽しみにしております。
熊野会員―巫部さん、先日はありがとうございました。
松田会員―1 月 25 日(木)雪の降る中、最愛の父が 89 歳で息を引きとりました。葬儀等は近親者のみで執り行いました。まだまだ悲しみに耐えません。父からいただいた言葉を胸にこれからも精進いたしますのでどうか今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。
大西会員―フードバンク北九州ライフアゲイン理事長 原田様、事務局長 陶山様、本日はお世話になります。ありがとうございます。
林田会員―フードバンク北九州原田様、本日の卓話よろしくお願いします。
本日、新酒が出ました。今年はすっきりとしています。
3 月 3 日は、全体の蔵開き祭り、3 月 10 日は、林田の蔵開き祭り、游友会です。お待ちしています。
巫部会員―囲碁の会、再開します。全く初めての方は、長戸さんのラインに登録ください。次回からやり方をお伝えします。

合計　４５，０００円

祝お誕生日―長戸　操会員　浅海輝二会員
大西千里会員　河野一郎会員　網田珠美会員

卓話の時間

「このまちの子どもの未来を守りたい」
NPO 法人フードバンク北九州 ライフアゲイン
理事長　原田 昌樹 氏

私たちは『すべての子どもたちが大切』とされる社会の実現をめざしています。それは言い換えれば、ひとり一人の子どもの中に潜んでいる可能性が大切にされ、その可能性を尊敬し、かけがえのない存在としてひとり一人が愛される社会の実現を目指しています。

私たちが重要視している幼少期の子ども達は、小学校区、いわゆる身近な地域社会で生活しています。その地域社会は少子高齢化、人口減少、単身世帯の増加、町内会の崩壊など孤立化が進み、ひとり親世帯の貧困率は 50%を超え世界ワースト 1 となっています。「すべての子どもたちが大切とされる社会の実現」において、子どもの貧困を含めた負の連鎖を断ち切るには、地域社会の孤立化を止め、血縁に関係なく、地域住民が家族的な関りを深め、地域の子どもは我らの子どもとして愛情をもって育み支え合っていく土壌が不可欠だと感じています。その土壌によって子ども達の心にシビックプライドが醸成され、地域社会も持続可能な循環を取り戻していけると確信しています。

その機運向上と、地域社会をつなぐプラットフォームとして、私たちは“子ども食堂”や“フードパントリー”などの食を活かした居場所を有効活用し、地域モデルの構築に励んでいます。

ご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。